

## [麦 類]

### 1. 作付の概況

九州地域における平成19年産の麦類の作付面積は54,340haで、前年よりやや減少した。麦種別では、小麦が35,600ha、二条大麦が17,400ha、裸麦が1,340haで、前年に比べて小麦は2,200ha減少したが、二条大麦は1,100ha増加した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が17.0%、二条大麦が50.4%、裸麦が33.3%であった。

県別では、小麦は宮崎県を除く各県で減少した。二条大麦は福岡県、熊本県で増加し、大分県で減少した。裸麦は、長崎県で減少した以外は、各県微増であった。

### 2. 生育概況

播種、初期生育は順調で、12月から2月上旬までは平年並、その後、3月上旬中旬の低温を除き高温に経過し、出穂期が平年に比べ1週間程度早くなった。4月上旬はやや低温その後やや高温となり、降雨量も平年に比べ少なく、日照時間が長く、登熟は良好であった。倒伏は軽微で、赤かび病の発生は少なかった。このため、千粒重と容積重が大きく品質も良好で、九州全体の10a当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均）対比は、小麦で122、二条大麦で124、裸麦で125といずれも良好であった。

### 3. 作柄の概況

各県の10a当たり平均収量対比は、作付の少ない宮崎県、鹿児島県を除くと、小麦は114～126、二条大麦も119～129、裸麦は115～143といずれの麦種も極めて良好であった。

(九州沖縄農業研究センター 小麦・大麦育種ユニット 藤田雅也)

# 平成19年産麦類の作付面積と収穫量

全国農業地域 ・ 都道府県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対差	対比		
(小表)	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
全 国	209 700	434	910 100	△ 8 600	96	113	72 900	109	110	
九 州	35 600	442	157 200	△ 2 200	94	115	12 300	108	122	
福 岡	15 200	475	72 200	△ 1 100	93	114	4 300	106	126	
佐 賀	11 500	457	52 600	△ 100	99	117	7 500	117	120	
長 崎	828	413	3 420	△ 135	86	122	160	105	128	
熊 本	4 940	389	19 200	△ 470	91	110	0	100	114	
大 分	3 000	322	9 660	△ 400	88	118	330	104	122	
宮 崎	43	277	119	10	130	100	28	131	100	
鹿 児 島	19	242	46	△ 7	73	102	△ 16	74	99	
(二条大麦)										
全 国	34 500	372	128 200	400	101	107	9 900	108	106	
九 州	17 400	413	71 800	1 100	107	123	17 100	131	124	
福 岡	4 720	402	19 000	1 000	127	126	7 100	160	129	
佐 賀	9 620	432	41 600	10	100	122	7 600	122	123	
長 崎	668	409	2 730	△ 6	99	124	510	123	119	
熊 本	1 640	356	5 840	180	112	120	1 520	135	119	
大 分	638	359	2 290	△ 75	89	135	400	121	120	
宮 崎	32	244	78	5	119	98	11	116	89	
鹿 児 島	113	252	285	△ 7	94	104	△ 7	98	100	
(裸 麦)										
全 国	4 020	356	14 300	△ 400	91	117	900	107	113	
九 州	1 340	344	4 610	△ 10	99	124	870	123	125	
福 岡	285	435	1 240	41	117	131	428	153	143	
佐 賀	99	408	404	24	132	116	141	154	124	
長 崎	202	304	614	△ 100	67	136	△ 62	91	128	
熊 本	26	323	84	4	118	108	18	127	115	
大 分	722	313	2 260	24	103	114	350	118	117	
宮 崎	3	233	7	0	100	99	0	100	97	
鹿 児 島	2	148	3	1	200	61	1	150	62	

注：1)「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量(過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

2)△は減少を示す。

3)資料は平成20年4月17日農林水産省公表(7月23日修正)の「平成19年産4麦の収穫量」による。